

第7章

インテリアデザイン



新築住宅のインテリアデザインは、基本設計の初期段階から、準備を進めていきます。最も大切なことは、理想のインテリアを具体的に描く「イメージ力」です。

インテリアの雑誌を見て「素敵だな」と思っても、「自分ではどうやっていいかわからない」という経験はありませんか。その原因はシンプルです。感覚的には感じて、具体的な理由がわからないからです。

素敵なインテリアを手に入れるために必要なこと。それは、自分の好みを具体的に言葉にできるくらい、インテリアを理解していることです。言葉にできれば、理想のインテリアを映像でイメージすることができます。言葉と映像イメージ、この両方をもつことで、建築・インテリアのプロへ、明確に要望を伝えることができます。

琉球風水の大きな特徴は、現状分析を徹底して行うことです。風水鑑定ツールに加え、インテリアのスタイル分析ツールも準備しています。風水理論は目には見えない本質のため、設計においては方向性を出すことが役割です。デザイン的な統一感を取るためには、インテリアスタイルを軸にする必要があります。

本章ではインテリアの風水設計手順を、間取り設計中から引き渡し後のタスクまで、一気通貫でお伝えします。「新築のどのタイミングで何をすればいいか」が全てわかり、インテリアデザインへの不安が解消します。デザイン的にも美しく、風水的にも最高に心地良いインテリアの作り方がわかります。

Interior Design



Philosophy

インテリア風水と考え方

美しい、心地いい、質がいい

Priority 1 インテリアスタイル



琉球風水が目指すインテリアは「美しい」「心地いい」「質がいい」空間です。この3つが揃うと、五感から安定的にプラスの情報を受取ることができます。「きれい」「快適」「落ち着く」などのプラスの情報を受け取ることができる環境では、心が整います。

琉球風水の考え方をインテリアデザインに加えると、空間に応じて、得られる感情の種類をカスタマイズできます。明るく、元気な気持ちになりたいときもあれば、落ち着いて心穏やかに過ごしたい時もあります。得たい感情から逆算してインテリアをデザインする方法があります。

Priority 2 陰陽方位鑑定



Priority 3 八方位鑑定



感情へアプローチ

琉球風水でインテリアをデザインする時は、3つの考え方からアプローチして、全体を調和させます。3つの考え方とは、1) インテリアスタイルと、陰陽論、八方位です。一般的なインテリアデザインは、インテリアスタイルを美しく統一すること。一方、一般的によく知られるインテリア風水は、八方位の運気にフォーカスしています。方位に合ったカーテンの色を選び、置物を置くことで運気が上がるとされています。

インテリアの美しい統一感と風水の考え方は両立できるのでしょうか。答えは「両立できます」ただし、考え方を組み合わせる時に、コツがあります。それは、優先順位を間違えず、バランスをとることです。見た目美しくなるようデザインの統一感をとり、そこで「得たい感情」が得られるようにすること。感情に最も働きかけるのは陰陽論です。その上で、八方位の運勢をアクセントに加えます。視覚、触覚、聴覚、嗅覚の感覚レベルからインテリアを設計することで、感情にアプローチできる空間ができあがります。



イタリア ミラノ大聖堂 (ゴシック様式)

Lily's Eyes 歴史に学び、思想に触れる

「インテリアスタイルの設定が上手くできず、テイストがごちゃ混ぜになり、美しくまとまらない...」。私が運営している風水講座で、多くの人が共通してつまづくところが、ここでした。

インテリアを美しく整えるには、風水を学ぶだけでなく、インテリアデザインに関するそれなりの知識・スキルがないと、専門家を見つけるのも、日々のインテリアを彩るのも、難しいのです。

私自身もインテリアについて感覚的などころがあったので、問題解決のため、海外のインテリアデザイン講座を受講しました。

インテリアの歴史の講義を受け、各スタイルの歴史的背景から、当時の「思想」に触れたことで、インテリアの見方が大きく変わりました。

私は琉球風水師でありながら、イギリスのインテリアデザイナー、ウィリアム・モリスの壁紙やファブリックをよく選び、ナチュラルとエレガントを合わせ持つ空間に、取り入れています。

気候も文化も全く違う沖縄とイギリス。何の共通点があるのかと不思議だったのですが、歴史を学び、モリスとの接点に気がきました。

それは、「自然界のピュアな美しさに敬意はを

らう」という、「思想」に共通点がありました。

それぞれのインテリアスタイルには、部分的に共通した「考え方」が含まれています。軸となる「価値観」を中心に、インテリアのテイストをミックスしていけば、統一感の生まれたインテリアができあがるのが、理解できました。

目に見える「物質」は、時間が経てば、やがて老朽化して姿を失います。しかし、目には見えなくとも、「思想」は、数千年、数百年の時を超えて、想いが受け継がれ、伝わります。

好みのスタイルが見つかったら、「なぜ、そのスタイルが生まれたのか？」という考え方にアプローチし、自分自身の価値観と重ね合わせます。調和の取れたインテリアを手に入れたい方は、歴史に心を傾けてみて下さい。

宇宙の本質

思想の軸をもつと、時空を超えたコミュニケーションが可能になる。

【設計編】

新築のインテリア設計フロー



トータルデザイン 4ステップ

「インテリアは、内装工事が始まってから考えればいいんじゃないの」と思っている方も多いかもしれませんが、もちろん、それでも間に合いますが。ただ、トータルにデザインしたい場合、早い段階からイメージを固める必要があります。基本設計で間取りが決まった後は、すぐに実施設計に入り、内装の建材を決めます。インテリアのプランニングは時間が必要です。間取りのベースがある程度決まったら、インテリアのイメージも並行して考えていきます。

住宅を設計する時は「全体と部分」「外側と内側」を行き来することが、調和のとれた家をつくる

るコツです。順番が大切で「全体→部分→全体」「外側→内側→外側」と、大きい視点から小さい視点を見ていきます。全体の調和と外側の世界を優先すること。その上で、部分と内側から逆算して住宅のフレームを作ると、住み心地の良い家ができていきます。

インテリアの主演は「家具」です。初めに理想の家具をイメージします。基本設計中にイメージを固め、実施設計で実際に使う建具や壁材などの建材を選びます。内装工事中には、現場の光の下で建材と家具の素材を合わせてチェックしながらコーディネートを進めていきます。

Step 1 基本設計 (3~6ヶ月)



インテリアスタイルを決める

1 インテリアスタイル設定

2 風水鑑定 (陰陽)

3 風水鑑定 (八方位)

Step 2 実施設計 (2~3ヶ月)



インテリアの建材の仕様を決める

1 ドア・窓・設備を決める

2 床・壁・天井・照明を決める

3 電気配線を決める

Step 3 内装工事 (1ヶ月)



内装を仕上げる

1 現場で内装建材の確認・決定

2 家具・家電の決定・発注

3 カーテンの色や柄の方向性

Step 4 引き渡し



インテリアコーディネートを上上げる

1 カーテンを選ぶ

2 アクセントのデザイン

3 ディスプレイの選定

1 Basic Design

基本設計中のタスク



軸と方向性がわかる風水鑑定

基本設計で、各部屋の配置が納得いくところにおさまったら、風水鑑定図面で現状の風水を分析します。インテリアで使う風水鑑定法は、陰陽方位と八方位。陰陽方位鑑定は、壁紙や床など広範囲に使う色の方向性を出すことができます。八方位鑑定は、参考程度に見ておきます。八方位の色は無理なく合わせられれば良いですが、インテリアスタイルよりも優先順位は低く「参考程度」で十分。各インテリアスタイルには相性の良い色があるので、テーマカラーのチョイスははスタイルを優先します。

インテリアデザインのステップは、まず2つの

風水鑑定図面をつくり、現状を把握しておきます。そこから、八方位の色を頭の隅に起きつつ、インテリアスタイルを中心にカラーパレットを決めます。そして、陰陽方位鑑定で導き出した光の量と空間の性質から、その空間で得たい感情にカスタマイズ。陰陽の調和が取れる色の方向性を出します。

インテリア風水は、八方位鑑定の結果にとらわれると上手くいきません。特に、八方位の色や素材にこだわると、調和を崩す引き金になります。八方位は、部屋のコンセプト設計やアクセントを入れる時に有効な鑑定法です。

Step1 陰陽方位鑑定



大まかな方向性が出る

間取りが決まると、その空間で受け取る光の量と構造的な陰陽をイメージできます。すると、空間ごとの得たい感情に合わせた、色の明るさや濃淡などの方向性を導き出すことができます。ベースカラー、テーマカラーの大雑把な方向性を出すのに適した鑑定法です。

Step2 八方位鑑定



部屋のテーマやアクセントに

鑑定結果を把握しつつ、統一感と調和を崩さない範囲で取り入れるのがコツ。どの空間に、どのような運気が宿っていて、どのような色や素材と相性がいいのか。運氣という「軸」があるので、部屋のテーマを決められます。運氣の意味をもたせてアクセントに使うと、楽しみが広がります。

Step3 インテリアスタイル設定



美しく暮らす準備

好みのインテリアスタイルで統一された空間に住まうことほど、毎日の暮らしを豊かに感じることはないのではないのでしょうか。基本設計の段階からしっかりと準備を。自分の理想のスタイルの特徴をつかみ、デザイン的な方向性を出して、イメージを固めておきましょう。

Yin Yan

1-1 インテリアの陰陽方位鑑定



陰陽バランスで方向性を出す

基本設計図のベースができあがるタイミングで、陰陽方位鑑定図面を作成します。きれいにゾーニングができていること、どの部屋がどの方位に配置されているかが「見える化」されます。鑑定図面を見ると、部屋に入る光の量が、その空間にとって適切なものか、強いのか、弱いのかわかります。琉球風水で方位が重要と考えているのは、太陽と建築との関係性がわかるからです。

ここでは、新築住宅の基本設計中にインテリアの方向性出すため、陰陽方位鑑定をどのように行うか手順を解説します。この段階では、光と構造の陰陽を見て、補う気の方角を出すのが目的

です。得たい感情を得るために、内装の色を明るめ（陽）にするか、暗め（陰）にするかがわかります。手順に従い鑑定してみましょう。

◆陰陽方位鑑定手順

- 1) 方位と空間の相性を見る（第二章●頁参照）
- 2) 開口部の大きさや周辺の建物の状況から実際の光の量を推測する
- 3) 空間構造（広さなど）で陰陽の傾きを見る
- 4) 陰が強い（光が弱い・狭い）空間は陽を補う
- 5) 陽が強い（光が強い・広い）空間は陰を補う
- 6) 陰陽が程よい空間は、陰陽の比率を維持する

Worksheet 各部屋の陰陽バランスを見て補う気を知る

◆記入例（玄関）

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input checked="" type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input checked="" type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input checked="" type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input checked="" type="checkbox"/> 陽

◆玄関

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆LD

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆キッチン

方位	相性	光	構造空間	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆洗面所

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆浴室

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆トイレ

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆寝室

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆書斎

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

◆子ども部屋

方位	相性	光	空間構造	得たい感情	補う気
	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 悪	<input type="checkbox"/> 強 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 弱い	<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽		<input type="checkbox"/> 陰 <input type="checkbox"/> 陽

Ba Gua

1-2 インテリアの八方位鑑定



運気を軸にコンセプトメイキング

前頁の陰陽方位鑑定を終えたら、八方位鑑定図面を作成し分析します。建物の中心から8区画に分け、それぞれの部屋がどの方位にあり、どんな運気が宿っているのか確認します。5色のペンを使い、カラフルに五行元素と運気を図面に書き込むと、イメージとして情報が入ってきます。

鑑定図面ができたら、右のワークシートを使って情報をまとめます。方位にはいくつかの運気が宿っています。空間の性質との相性を見て「得たい運気」を決めます。八方位の運気と空間の性質が合わない場合は、空間の性質から得られる運気を書き込みます。（※第3章参照）

各方位には相性の良い色が複数あります。陰陽方位鑑定の結果と得たい運気に合わせて、色を絞り込みます。ただし、ここで選んだ色を「テーマカラーにしなくてはいけない」という意味ではありません。色選びは、インテリアスタイルの統一感を優先します。この時点でテーマカラーとして使わなくても、アクセントで使う色として頭に覚えておくといいでしょう。

得たい運気や色の方向性を参考に、部屋の名前を考えてみましょう。名前をつけると愛着がわきます。部屋のインテリアをデザインする上でのコンセプトになります。

Worksheet 八方位からテーマを決める

◆玄関

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆LD

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆キッチン

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆洗面所

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆浴室

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆トイレ

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆寝室

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆書斎

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

◆子ども部屋

方位	色	得たい運気	名前 (コンセプト)

※八方位鑑定図面の作り方や、運気と色については、第1章「八方位鑑定」の●～●ページを参照ください。

Style Setting

1-3 インテリアスタイル設定

スタイルを分類する4つの要素

①素材 ②質感 ③色 ④形	
シンプル 素材：スチール、プラスチック 質感：サラサラ、ツルツル 色：ニュートラルカラー（白等） 形：細い直線・人工的な曲線	ナチュラル 素材：天然木・テラコッタ・麻 質感：デコボコ、ザラザラ 色：自然素材の色（茶・生成り） 形：装飾のない直線、自然の曲線
モダン 素材：コンクリート、ガラス、革 質感：ツルツル、ピカピカ、固い 色：白、黒、ビビッド、メタリック 形：シャープな直線、人工的曲線	クラシック 素材：天然木、大理石、真鍮 質感：ザラザラ、ツヤツヤ 色：落ち着いた色（茶・紺、緑） 形：太い直線、優美な曲線、装飾

スタイル分析のコツは陰と陽

陰陽方位鑑定を八方位鑑定の結果を頭の隅におきながら、インテリアスタイルの設定をします。「スタイル設定」というのは、とてもクリエイティブな作業です。何かを「生み出す」時は、現状分析から始めると上手くいきます。まずは自分の好みを「感覚的」ではなく、「具体的」に理解することがスタイルを決める1番の近道です。

第一ステップは、あなたの理想のスタイルを分析することです。理想のインテリアのイメージ写真を集め、色や形、素材の特徴をつかみます。

第二ステップは、主役の家具と色を決めます。インテリアの主役は家具ですが、主役の家具を

置き去りに、内装の建材を決めてしまう方がほとんどかもしれません。また、風水にこだわってしまうと、スタイルを考えずに、「方位にあった色さえ入れれば良い」と考えてしまいがちです。軸となるスタイルを設定した上で、風水にも配慮したインテリアをデザインします。

第三ステップは、セレクトした建材と家具の写真を並べ1枚のシートにまとめてみます。紙の上に写真を貼り付けたり、パソコンのプレゼンテーションソフトに写真を貼り付けてみましょう。トータルなイメージを掴んでおくと、この後、実施設計で内装の建材を決めるのもスムーズです。

Step1 理想のスタイル分析



色や形の特徴をつかむ

理想のインテリアといっても、その写真と全く同じ空間に住みたいということではないはずです。そのインテリアの「何か」が気に入っているから選んでいるのです。その「何か」を明確にすることができれば、あなたの空間にそのエッセンスを取り入れることができます。

Step2 主役の家具と色を決める



スタイルの方向性を決める

インテリアスタイルの中で最も特徴的なのは、家具のデザインです。家具の特徴をつかむことで、内装全体の方向性を決めることができます。各スタイルには相性の良い色が存在します。風水鑑定結果から相性の良い色の方向性を踏まえつつ、インテリアスタイルにあった色を選びます。

Step3 イメージボードの作成



理想をイメージで描く

3Dパースを作ることは難しいかもしれませんが、壁紙や扉、家具をシートの上に並べてみるだけでも、調和が取れているかどうかわかります。実際に、プランを作ってみることで、「もっとこんなインテリアにしたい」というイメージも具体的になっていきます。

Style Analytics

1-3-1 理想のスタイル分析



10のポイントを全方向チェック

「なんとなくこういうのが好き」という理想のインテリアスタイルの写真を『感覚的』に集めます。それらを、陰と陽で観察すると、あなたの好みが『具体的』になります。インテリアを構成する要素は全部で10あります。役割でグループ分けすると、1) 主役、2) 引き立て役、3) ドレスアップの3つに分けることができます。第4章●ページで解説した代表的なインテリアスタイルの陰陽を参考に、役割ごとに分析してみましょう。

1) 主役グループは、家具、建具、設備です。インテリアスタイルは、家具のデザインに1番特徴があります。家具の特徴をとらえると、インテ

リアスタイルがわかります。

2) 引き立て役グループは、床、壁、天井、照明です。インテリアの配色でも7~8割を占めるベースカラーが、主に使われている部分です。どのような色や素材が使われているか確認します。

3) ドレスアップのグループは、カーテン、アクセント、デコレーションです。配色の割合は半分以下ですが、部屋のイメージとなる色が使われている部分です。

チェックポイントを右ページにまとめました。理想のインテリアの何が好きなのか具体的にわかることで、要望を明確に出すことができます。

Step1 主役を見る



Step2 引き立て役を見る



Step3 ドレスアップを見る



①家具 ②建具 ③設備

◆チェックポイント
主役は何か
建具と家具の統一感
木製建材の素材と色
設備はインテリア全体と調和しているか

◆チェックするパーツ
スタイル・色・柄・形・素材・装飾・取手・モールディング

④床 ⑤壁 ⑥天井 ⑦照明

◆チェックポイント
家具と床の調和
壁・天井のテイストが主役と調和しているか
照明が効果的に使われているか

◆チェックするパーツ
スタイル・色・柄・形・素材・装飾・取手・モールディング

⑧カーテン ⑨アクセント

⑩デコレーション

◆チェックポイント
生地のトータルコーデ
壁紙とトータルコーデ
アクセントが効いているか

◆チェックするパーツ
スタイル・色・柄・素材・

・カーテン：上飾り・ヒダ山の数・タッセルのデザイン・レールのデザイン
・アクセント：クッション・テーブルマット・フットスロー
・デコレーション；置物・アート・時計・鏡

Premiere

1-3-2 主役の家具と色を決める



分析結果をまとめ方向性を出す

前ページ「理想のスタイル分析」の結果をまとめるシートを右に用意しました。10のチェックポイントから、主要なアイテムを分析することで、スタイルの特徴が見えます。理想のスタイルがわかったら、主役の家具のイメージを描きます。ソファやダイニング、ベッドなど部屋の印象を決める理想の家具の写真を探します。

インテリアを分析する時は、家具とドアがどのように調和しているか、意識を向けてみましょう。造り付け家具がある場合、置き家具との統一感にも注目します。造り付け収納の扉は、インテリアのデザインに大きく関わっています。設備も家具

の一部です。キッチンや洗面台の収納扉のデザインが、どう調和しているか注目してみましょう。

壁紙やドアを単体で見ると、好みのものを選んででも統一感が取れません。しかし、家具との調和という視点で他のアイテムを見てみると、全体的な配色バランスが見えてきます。カラーパレットを決める時は、インテリアスタイルに合った色を選びます。軸になる色が決まれば、陰陽方位鑑定の結果から得たい感情に合わせてバランスをとることができます。八方位の色は、スタイルを崩さない範囲でテーマカラーやアクセントカラーで使えそうか考えてみましょう。

Worksheet インテリアスタイル分析ワークシート

◆10のチェックポイントをそれぞれ分析してみましょう

- ①家具：
- ②建具：
- ③設備：
- ④床：
- ⑤壁：
- ⑥天井：
- ⑦照明：
- ⑧カーテン：
- ⑨アクセント：
- ⑩デコレーション：

◆特徴を書き出してみましょう。

◆理想のインテリアスタイルは？

◆主役の家具を決めましょう

主役になる家具は何ですか？

理想の家具のイメージ写真を貼り付けてください

◆カラーパレットを作成して、空間に使う色を3~4色決めましょう。

ベースカラー（75%）		テーマカラー（25%）	アクセントカラー（5%）
木材	壁・天井		

Image Board

1-3-3 イメージボードを作る



脳がイメージできたら実現する

理想のスタイルを分析し、主役の家具とカラーパレットが決まったら、内装に使う建材のイメージ写真を集めます。スタイルを分析し、実際に写真を集めてみることで、具体的なイメージを描くことができる状態になりました。脳は、知らないもの、見たことないものをイメージすることはできません。しかし、映像でリアルにイメージできたものに対し、脳は全力で実現しようと動き出します。

知識がなく、漠然と見た景色の詳細を思い出すのは難しいものです。しかし、意識を向けて観察し、さらに、発見や感情が伴うと、記憶に強く残

ります。こうなると、脳の検索装置が自動的に発動されます。理想の内装を作るために必要な情報が、どんどん入ってくるようになります。

セレクトした家具と建材を1枚のシートにまとめて見てみましょう。全体的なバランスをつかむことができます。家具や壁紙など気に入ったものが見つかったとしても、相性が悪いこともあります。写真を並べてみると、組み合わせの良さ悪しが見えてきます。主役の家具に対して、どのようなドアや壁紙、床が相性が良いのか、イメージをつかんでおきましょう。イメージができていると、内装の建材選びもスムーズです。

Step1 素材を集める



Step2 シートにまとめる



Step3 組み合わせを考える



スタイル名で検索

イメージ写真集めは、具体的なスタイル名で検索できるとスムーズです。Pinterestのような写真検索サイトを使うと、一つ気に入った写真が見つかれば、似た画像を集めることができます。家づくりとインテリアデザインのプラットフォームhouzzのサイトも、スタイル別に検索できます。

相性を見る

集めた写真を1枚のシートに貼り付けます。椅子の背景に、壁紙を持ってくると相性がわかります。家具を並べる時は、できるだけ縮尺のサイズを合わせ、実際に置く並びで写真を配置します。中心に図面を置いて、周りに家具や建材の写真を張りつけていくのもいいでしょう。

イメージをまとめる

実際に並べてみると、相性が合わなかったり、統一感がなかったり、全体的な視点でインテリアが見えてきます。単体で見た時は「どうかな」と思ったものも、組み合わせるとイケるということもあります。いろいろな組み合わせを作り、見比べると、最適な組み合わせが見えてきます。

2 Execution Design

実施設計中のタスク



理想の自分にふさわしい部屋に

実施設計でのインテリアデザインは、具体的な内装材の仕様を決めると同時に、工事費用が確定します。基本設計終了後、すぐ実施設計に入ります。ドアなどの建具、壁材などの建材、造り付けの家具の仕様を決めます。インテリアの仕様次第で、コストも大きく変わります。

家を建てる費用の概算を出す時は〈広さ×坪単価〉の数値を目安にすることが多いです。木造、RC造など住宅の構造によって、坪単価は異なります。見積りのタイミングでも違いが出ます。インテリアにこだわりたい方は、標準的な坪単価より3割増くらいで計算しておくことがお勧めで

す。建築設計プロジェクトが必ずと言っていいほど難航するタイミングがあります。それは、予算を調整する段階です。見積もりが甘いと、理想と現実のギャップに相当なストレスを受けます。

「センスがよければおしゃれになる」と思っている方も多いかもしれませんが、センスの良さは一部にすぎません。素材の上質感がもし出すオーラのようなものが、インテリアの世界観を決定づけています。内装材は、毎日脳に刷り込まれる情報になり、人生に与える影響も大きいです。理想の自分にふさわしい内装材を選びましょう。

Step1 ドア・窓・設備を決める



家具と建具に統一感を

内装で1番こだわりたいのは「ドア」です。中でも最も重視するのは「玄関ドア」です。家の顔になりますから、その家の印象を決定づける存在になります。各部屋のドア、造り付け収納の扉、設備の扉に統一感をもたせましょう。主役の家具から逆算して選ぶのがコツです。

Step2 床・壁・天井・照明を決める



陰陽の調和を取り快適に

床、壁、天井は、配色の7~8割を占める部分。ここは、陰陽方位鑑定の結果を活かします。その空間で得たい感情を得るために、陰か陽か、補う氣の方向性を合わせます。光と構造的な陰陽からバランスを取ることが目的です。色の明暗、寒暖、濃淡、彩度で陰陽バランスを調整します。

Step3 電気配線を決める



良い氣が巡る電気の流れ

電気配線の機能面では、家具の風水レイアウトが決まると、暮らしに適したコンセントの位置が簡単に見つかります。デザイン面では、光の演出効果を取り入れましょう。玄関やリビングなどのディスプレイ専用スペースにスポットライトを当てると、良い氣が巡りやすくなります。

3 Finish Work

内装工事中のタスク



現場の光に合わせて見る

内装工事の段階では、建材のサンプルを実際の空間の光の中で合わせ、色や柄などの最終決定をします。実施設計で内装の仕様を決める時、内装材のサンプルを取り寄せています。サンプルを取り寄せてみると「カタログ写真でイメージしたものと違った」ということはよくあります。さらに、同じ色や素材でも、現在お住まいの家で見ると、新居で見るとは、違った印象になることがあります。光が違うからです。

内装工事の段階では、工事費用には含まれていない家具の張地やカーテンなどのサンプルも取り寄せます。インテリアを構成する全ての素材を集

め、現場の光の下で合わせていきます。インテリアスタイルの設定でデザイン的な統一感を出し、陰陽方位鑑定で得たい感情に合わせた方向性は出ています。内装工事の段階では、家具やカーテンなど工事費用に含まれないパーツまで合わせ、全体の調和を見て内装材を最終決定します。

家具やカーテンをオーダーメイドする場合、数週間から数ヶ月かかります。輸入家具は納期が半年以上になるブランドもあります。余裕をもってオーダーしたいところではありますが、現場の光の下でトータルコーディネートするまでは、決定しないほうが安全です。

Step1 現場で内装材を確認



現場で全体的な相性を確認

実施設計が終わってから棟上式までの間に、家具の張地やカーテンなどを具体的に考えておきましょう。実際に商品を見て、見積もりを取り、サンプルを取り寄せておきます。棟上げが終わると実際の空間を体感できます。現場の光の下でサンプルを組み合わせ、全体的な相性を確認します。

Step2 家具・家電の決定・発注



家具も家電も統一感を

新築する時に気をつけたいのは、これまで使っていた家具を持ち込んでしまうこと。調和を崩す原因になります。家具は同じブランドで揃えるのが、統一感を取る1番の近道です。家電もインテリアの一部。家電は生活感が出やすいので、同じ色で統一し、デザイン性の高いものを選んで。

Step3 カーテンの色や柄の方向性



陰陽バランスの最終調整役

床、壁、天井の施工が済み内装工事が終わる頃には、部屋全体のバランスが見えてきます。カーテンがテーマカラーとなり、存在感のある陽の存在になるのか。それとも、壁や家具を引き立てるベースカラーとなり、ニュートラルな陰の存在になるのか。方向性を出します。

※インテリア配色の黄金比率は、ベースカラー75%、テーマカラー25%、アクセントカラー5%

4 Decoration

引き渡し後のタスク



美しい彩りインテリアを仕上げる

住宅が竣工し引き渡しが終わったら、家具、家電を設置しつつ、カーテンを決めます。生活に必要なものが揃うと、インテリアはそこで終わりにになってしまう方も多いかもかもしれません。お部屋づくりは、プランニングに頭と時間を使います。集中して考える時間をもたないと、知らず知らずのうちにずっとそのままになってしまいます。入居する時は「素敵なインテリアにしたい」という気持ち最強の時。このタイミングで、しっかりトータルコーディネート仕上げましょう。

カーテンはファッションで例えるとドレスのような存在。また、最終的なカラーバランスの調整

ができる役割もあるので、家具が入ってからのほうが、より具体的にイメージがわきます。

カーテンは、クッション、テーブルセンター、ベッドスローなどのアクセントファブリックとトータルにコーディネート。カーテンは範囲が広いので、色や柄で個性を強くしすぎると、飽きる可能性も出てきます。でも、「無地じゃ寂しい」と感じるかもしれません。クッションやテーブルセンターで華やかな色や柄を入れると、お部屋が一気におしゃれになります。カーテン、アクセントファブリックの方向性が出たら、仕上げのディスプレイを選びます。

Step1 家具・家電・カーテンの設置



単体ではなく全体を見る

カーテンは単体で見ずに、全体としてのまとまりを優先して選びます。例えば、アクセントが華やかであれば、カーテンはニュートラルな存在にすると、調和がとれます。アクセントと合わせてカーテンを選ぶとよいでしょう。タッセルは、華やかなアクセントとして楽しんで。

※既成品とオーダーメイドでは価格が大きく異なります。生地次第ではありますが、オーダー価格は坪単価1~2万円程度を目安に。

Step2 アクセントのデザイン



華やかに彩るスパイス

アクセントファブリックは、配色の5%をしめるアクセントカラーです。面積が小さいので、陽の気の強い色や柄を選びます。八方位の色や柄を入れるのもっともお勧めな部分です。カーテン生地のメーカーから生地のサンプルを取り寄せ、組み合わせの相性を確認します。

※面積の小さいアクセントに高級な生地を使い、面積の広いカーテンをシンプルにすると、カーテンに高級生地を使うよりコストを抑えられます。

Step3 ディスプレイの選定



視線の流れを味方に

インテリアには「フォーカルポイント」と呼ばれる、視線の集まる場所があります。家具が入った後、実際にお部屋を歩きながら、どこに視線が向かうを確認します。視線の向かう場所に、壁掛け型のウォールデコレーションや、コンソールテーブルを置いてディスプレイを設置します

※視線の流れは間取り図でも読み取れます。間取り設計の時に、ディスプレイ専用スペースやスポットライトを準備しておくのがお勧めです。

Living Room

【参考事例】4色のLDアクセント

暖かさを感じるパブリック空間

パブリック空間で陽性の色をテーマカラーに使う時は、陽の気が過剰になり過ぎないように。範囲を狭くしたり、彩度を下げたりして、陰の気を補いながら陽の気を維持します。テーマカラーの配色は全体の25%。壁紙1面にアクセントクロスでテーマカラーを入れたら、カーテンはベースカラーに抑えて。デザイン性の高いタッセルやクッションに大胆な柄を入れると華やかなアクセントになります。

美しさに輝きが増すアジアリゾート



- ◆カーテンはベースカラー
無地（陰）で落ち着きのあるベージュ（陰）の生地で穏やかな陰の気
- ◆タッセルでコントラスト
赤（陽）の彩度を抑えつつ（陰）エレガントなデザインで（陽）
- ◆クッションで華やかさ
ベージュ（陰）ベースに赤（陽）の彩度を抑えた（陰）大胆な柄（陽）
- ◆壁にグリーンで気を活性化
五行で火の気を強める木の気をアーティフィシャルグリーンで

嬉しい♪楽しい！レトロポップ

- ◆カーテンはベースカラー
明るいクリーム色（陽）を、無地（陰）でシンプルに
- ◆タッセルはまるっとかわいく
金の氣と相性の良い丸い形。アクセント（陽）で、キュートな印象に
- ◆クッションでナチュラル美
ビビッドイエロー（陽）のソファにナチュラル（陰）でかわいく（陽）
- ◆壁にファブリックパネル
クッション、テーブルセンターと生地を統一して上品な世界観に



コンドミニアムホテルの琉球風水コーディネート、LDの事例を紹介します。壁紙やソファなどの家具が決まっていた状態から、琉球風水でカーテン、タッセル、クッション、ウォールデコレーションを選びました。赤、黄、青、緑の4色をテーマカラーに「陰陽」×「五行」でアクセントをコーディネート。五行それぞれがつかさどる運氣と、象徴する色や形を使いながら、空間全体の陰陽バランスを整えました。

クールに決めるパブリック空間

パブリック空間で陰性の色をテーマカラーで使う時は、明るい色味を選ぶと陰陽のバランスが取りやすくなります。パブリック空間に必要な陽の気を補うには、アクセントでポイント的に陽エネルギーをプラス。クッションやウォールデコレーションなどに取り入れるとインテリアのスパイスになります。温かみのある暖色、鮮やかな色、華やかな柄で遊び心が入ると、インテリア全体が調和します。

知性を磨くエレガントなビーチリゾート



- ◆カーテンはベースカラー
沖縄の砂浜をイメージさせる明るい（陽）ベージュの無地（陰）を
- ◆タッセルは濃い青でアクセント
華やかな（陽）デザインの濃い（陽）青を使ってスパイスに
- ◆クッションで華やか、暖かく
鮮やかな（陽）青の華やかな（陽）柄&温かみのあるピンク（陽）を
- ◆ウォールデコで華やかな印象に
南国をイメージさせる華やか（陽）で暖かみ（陽）のある色で

チャンスが舞い込む森の楽園

- ◆レースカーテンは森の楽園
ドレープは無地のベージュ。レースは幸運のモチーフ鳥の絵柄で
- ◆タッセルでコントラスト
明るい（陽）グリーンにデザイン性の高い（陽）エレガントなデザイン
- ◆クッションは華やかで温かく
森に咲く鮮やかな赤い花（陽）と植物が大胆に（陽）描かれた生地
- ◆壁にはチャンスをもたらす鳥
立体的なグリーンで木の気を強め、鳥が訪れるストーリー



Bed Room

【参考事例】 4色の寝室アクセント

安らぎと癒しのプライベート空間

寝室のテーマカラーに陰性の色は相性が良いのですが、バランスにはご注意ください。青は鎮静効果もありますが、寒々しい印象にならないように。緑は落ち着きや癒しを感じるほどよい陰性の色で、寝室にはとても使いやすいです。陰性のテーマカラーにアクセントを入れる時は、彩度の高い色、華やかな柄を取り入れることによって、穏やかに陽の気が補われます。

穏やかにぐっすり眠るビーチリゾート



- ◆カーテンはテーマカラーで彩度が低い（陰）青色。無地（陰）で落ち着いた印象に
- ◆ベッドスローで美しく鮮やかな（陽）ターコイズブルーやシルバーの華やかな（陽）柄
- ◆クッションでアクセント無地で同系色の濃い（陽）色を選び統一感。上品な仕上がりに
- ◆ウォールデコで華やかに白い貝殻を思わせるツヤ（陽）のあるフレームで空間に動きを

癒されて目覚めもすっきり森の楽園

- ◆カーテンはベースカラーモスグリーンのようなベージュのような。彩度を抑えて（陰）
- ◆ベッドスローで華やかさウィリアム・モリスのレスター・アカンサスでナチュラル&エレガント
- ◆クッションでアクセントベッドスローの濃い（陽）緑に合わせた無地の生地でアクセントに
- ◆ウォールデコでアート感緑と調和する優しい色のフレームを壁に掛け、壁紙がアートに



幸福感と喜びのプライベート空間

コンドミニアムホテルの琉球風水コーディネート、寝室の事例を紹介します。壁紙やベッドが決まっていた状態から、琉球風水でカーテン、ベッドスロー、クッション、ウォールデコレーションを選びました。赤、黄、青、緑の4色をテーマカラーに「陰陽」×「五行」でアクセントをコーディネート。寝室は五行の象意や色彩のもつ性質と眠る人の気持ちを考えて、空間全体の陰陽バランスを整えました。

寝室で陽性のテーマカラーで使う時は、狭い範囲で使う、彩度を低くする、色を暗めにするなどにより意図的に陰を補います。特に赤や黄色は陽の気が強い色。寝室では、彩度を低くしたり、少し暗めの色にしたり、陽の気を抑えるのがポイントです。アクセントのベッドスローやクッションの柄に注目して、陽の気を補うと華やかな空間を演出できます。五行の運氣も入るとより楽しみが広がります。

心も体もホッと温まるアジアリゾート



- ◆カーテンはテーマカラー彩度の低く（陰）暗め（陰）の赤。腰窓の狭い範囲でテーマカラーに
- ◆ベッドスローで華やかさベージュ（陰）ベースに、彩度の低い（陰）赤で華やかな柄（陽）を
- ◆クッションでアクセント彩度が低い（陰）無地（陰）の赤のポイント使いで全体に統一感を
- ◆ウォールデコで植物の癒しブラウン系（陰）のナチュラル感のある木製レリーフで華やか（陽）に

ゆったり豊かな気持ちにレトロポップ

- ◆カーテンはテーマカラー彩度を抑えた（陰）カラシ色。腰窓の狭い範囲（陰）で抑えめに
- ◆ベッドスローで運氣プラスウィリアム・モリスのフルーツの生地。レモンの実は豊かさを象徴
- ◆クッションはアクセントカーテンの色に合わせ、カラシ色のクッションで統一感
- ◆ウォールデコで上品コーデベッドスローと同じ生地のファブリックパネルでコーディネート



